

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 小坂井商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等		備考
				指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値		自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法		
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に経営指導員等商工会職員が事業所を訪問、または窓口において金融相談・税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成をするとともに創業予定者をはじめとした経営全般に係る相談窓口の設置により経営改善に資する指導をする。	1. 巡回窓口指導延件数 641件 2. 巡回窓口指導実企業 156件 3. 課題解決提案件数 11件 4. 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 103.4 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 55.0 %)	事業者の必要時に専門家派遣を行い、内容の濃い経営支援ができた。また、事業者においても、知識の習得が図れた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	経営支援は進めているが、課題解決提案件数は伸び悩んでいる。 実施方法は現行のまま行い、事業者の相談内容から提案に繋がる事案を見つけ出し件数を上げていく。		
記帳継続指導	商工会契約税理士又は商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自主記帳や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 55件 2. 指導延回数 882回	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 101.9 %)	指標	(達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営力向上につながった。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	29年度は廃業による減少と新規による増加があり、30年度は目標を上げた。		
講習会事業	多様化する経営資源に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報化等の知識習得や時事的な問題について啓蒙を図り、必要な講習会の提供と参加者の資質向上を目的とする。	1. 集団講習会 実施回数 6回 参加者数 53人 2. 個別講習会 実施回数 12回 参加者数 53人	小規模事業者	指標	実施回数 (達成度 112.5 %)	指標	参加者数 (達成度 101.0 %)	伴走型小規模支援事業に沿ったセミナーを実施。経営面を強化したいと思っている事業者を把握することができた。今後の支援に繋げていきたい。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	実施方法は変更しないが、経営面を支援できるセミナーをポイントとして進めていく。	○	
地域振興事業 (地域振興まつり事業)	地域イベント「みんなよっいで!この街すきです 葵まつり」を10月に開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの場を提供するとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	地域振興まつり事業 1. 出店事業所数 17事業所 2. 葵まつり実行委員会 4回	小規模事業者	指標	出店事業所数 (達成度 85.0 %)	指標	(達成度 %)	葵まつりへの来場者に青年部・女性部をはじめ商工会の活動や協賛団体、商業者の出店による地域産業のPRをすることができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	29年度と同様に進めていく。		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて事業主に代わって労働保険料の申告納付に関する各種届出等の事業手続きを行うことにより小規模事業主等の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	1. 委託事業所数 56件 2. 対象従業員数 282人	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 96.6 %)	指標	(達成度 %)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	間違いない事務処理と迅速な対応を続けていく。		
税務関係団体事業 (青色申告会)	税務支援団体「青色申告会」が行う地域貢献活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、商工業の活性化に資することを目的とする。	小坂井青色申告会 1. 加入事業所数 116件	小規模事業者	指標	加入事業所数 (達成度 96.7 %)	指標	(達成度 %)	青色申告会会員の協力により事業が的確に行われた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	廃業による減少に伴い29年度目標を下げる。実施については青色申告会の事業運営を引き続き実施していく。		
青年部・女性部事業	青年部・女性部それぞれの事業を通じ、地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	1. 青年部活動事業 (ご当地グルメ事業他) 参加者数 386人 2. 女性部活動事業 (手作り事業他) 参加者数 186人	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 95.3 %)	指標	(達成度 %)	青年部員及び女性部員による積極的な事業への参加があり、部員それぞれのアイデアを活かし、内容のある活動ができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	29年度参加者数が減少したため、30年度は目標を下げる。事業については、引き続き活動を通じ地域の発展に寄与していく。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

福利厚生事業	小規模事業主等の経営・雇用の持続的な安定を図るため各種共済制度の普及・健康診断事業の実施等により、事業所の健全な育成を目的とする。	1. 共済普及推進(中小企業共済、中退金等)加入件数 256件 2. 福利厚生事業(ゴルフ大会健康診断)参加者数 68人	小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 94.8 %)	指標 (達成度 %)	従業員に関する共済は雇用安定のため、持続的に契約更新されている。	総合評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	契約件数の減少により、目標を下げる。事業については引き続き福利厚生事業を進めている。
部会・委員会事業	商業部会、工業部会が事業を行うことにより、参加企業の発展に寄与することを目的とする。	1. 商業部会(焚まつり大売出し・出店事業他)参加企業数 51件 2. 工業部会(経営講習会他)参加企業数 31件	小規模事業者	指標 参加企業数 (達成度 96.5 %)	指標 (達成度 %)	商工業の各事業において、例年どおりの参加が得られた。	総合評価 C	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 C 必要性 C	満足度 C 補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	30年度は現行どおり進めていくが満足度・必要性の評価が低いので、事業者のためになる事業内容の検討が必要。
経営強化事業 (エースクラブ事業)	商工会活動への協力、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. エースクラブ(会議・事業)参加企業数 199件	小規模事業者	指標 参加企業数 (達成度 90.5 %)	指標 (達成度 %)	商工会事業に積極的に参加し貢献した。	総合評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	29年度、参加者数減少。また、部員数も減少しているので30年度の目標を下げる。事業については、商工会活動への協力、地域商工業の発展に寄与していく。
若手後継者等育成事業 (若手後継者勉強会)	経営者となる若手後継者だけでなく、地域の小規模事業者は、今後さらに変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのため、本事業を活用し経営の基礎となる部分を再確認できる勉強会を実施することで、事業主の資質向上・人材育成が向上し企業の継続的な経営を目指す。	1. 実践型勉強会 ・営業に役立つ話し方講座 実施回数 1回 参加者数 22人 ・ノベルティ販促セミナー 実施回数 1回 参加者数 13人 ・ネットショップ入門セミナー 実施回数 2回 参加者数 12人 2. 商工会青年部全国大会 参加者数 3人	小規模事業者	指標 勉強会参加人数 (達成度 117.5 %)	指標 セミナー参加者満足度 (達成度 119.3 %)	若手後継者等育成事業を活用し、様々な分野から満足したという結果が出た。この事業によって今まで実施できなかった分野での勉強会を開催できたことは、参加者にとつて幅広い知識を得ることができた。関係ないと思っていた分野での勉強会でも応用すれば自社の経営に繋げることができ、多くの知識を学ぶことができた。多くの知識を学ぶことができた。多くの知識を学ぶことができた。	総合評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	経営環境が大きく変わっている近年小規模事業者の若手の経営者や後継者は変化への対応が遅くなってしまっている。以前と同じ経営を続けていても厳しい現状が予想される。今回の事業を得て、次につながる経営の意識を得ることが出来た。継続的な経営ができるよう指導を続けていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。